

国の「GX戦略地域」に福岡県（北九州市・直方市・鞍手町）が 正式に認定されました

～データセンターを活用したさらなる産業振興・発展を目指して～

国は昨年8月に、脱炭素電源が豊富な地域へデータセンターの分散立地を促し、デジタルインフラの強靱化、GX推進と地域産業のDXの推進、新たな産業クラスターの形成を目指す「GX戦略地域※¹」制度を創設しました。

本制度について、昨年12月から2月にかけて地域選定のための公募が行われ、4月には「GX戦略地域」（データセンター集積型）の「有望地域※²」に、本県を含む9地域が選定されました。

今回、その有望地域の中から最終審査が実施され、福岡県（北九州市・直方市・鞍手町）が「GX戦略地域」に正式に認定されました。

今後、国の支援を最大限に活用し、関係事業者、自治体と連携しながら、大規模データセンターの集積を図るとともに、GX関連産業の一大拠点の形成を目指します。

※1 令和7年2月に閣議決定されたGX2040ビジョンの方針を踏まえ、GX産業立地政策の具体的な措置として「GX戦略地域制度」を創設。

産業集積やワット・ビット連携（電力・通信インフラの一体整備）を促進し、「新たな産業クラスター」の創設を目指すこととし、地域選定を行う3類型（① コンビナート等再生型、② データセンター集積型、③ 脱炭素電源活用型）と事業者選定を行う「④ 脱炭素電源地域貢献型」に分類。

GX戦略地域（② データセンター集積型）に指定された場合は、電力・通信インフラその他インフラの整備促進、DCの利活用施策（＝AI関連施策）が一体的に講じられる。

※2 「有望地域」とは、GX戦略地域の選定過程において、一次審査として選定されたもの。